

<センター通信 2月号>

地域総合医療センター
丹羽智彦

◇ 急性胃腸炎（ノロウイルス感染症）が流行っています。

冬場に入り今年もノロウイルス感染症が流行しています。ノロウイルスの知識を深めて、感染予防と周囲に感染させないための対策を講じましょう。

1. ノロウイルスの感染経路について

ノロウイルスの感染源は牡蠣、シジミ、アサリ等の二枚貝とされています。また、感染者の糞便や吐瀉物に含まれるウイルスが人から人への感染の原因となります。



2. 予防について

二枚貝、感染者の便や吐物にはノロウイルスが含まれますので予防のために以下の事をしっかりと守りましょう。

- 石鹼による手洗い！
- 貝類はしっかりと加熱、包丁やまな板も！
- 感染者の便や吐物の処理！

※感染者の便や吐物を処理する際は、換気を良くして、手袋とマスクを着用した上で吐物等にペーパータオルをかぶせ、塩素系漂白剤で消毒してから十分に拭き取ってビニール袋に入れてすぐに破棄してください。



3. 症状

感染してから発病するまでの潜伏期間は約 1~2 日で、約 1 週間で症状は改善します。

- 激しい吐き気、嘔吐
- 下痢
- 37 度台の微熱
- 腹痛



※乳幼児や高齢者は激しい下痢、嘔吐により脱水症を来し、重症化することもありますので早めに医療機関を受診してください。